

高校放送コンテスト 鞍手高が創作テレビドラマ部門優勝作品に

07月24日 19時10分



放送部などで活動する全国の高校生たちがアナウンスや番組制作などの技術を競う「NHK杯全国高校放送コンテスト」の決勝が東京で行われ、創作テレビドラマ部門では、直方市の鞍手高校の『猪突盲信』が優勝作品に選ばれました。

ことしで72回目となるコンテストには、全国1357の高校から1万2500人余りが参加し、都道府県大会を勝ち抜いた代表による決勝が東京・渋谷のNHKホールで行われました。

審査の結果、創作テレビドラマ部門では直方市の鞍手高校の『猪突盲信』が優勝作品に選ばれました。

決勝の様子は、ことし11月に、

▽Eテレで放送する「ティーンズビデオ2025」や

▽NHKのラジオ番組で放送する「ティーンズラジオ2025」で紹介される予定です。